

2025
VOL.125
August

8

Cover& Interview ——— 臨床研修医 長谷川 耀 / 田中 愛子



Contents

経営企画室より救急拠点構築の進捗状況
最新・救急車受入れ状況

老朽化が進む救急車の更新を目指して
3,000万円以上の

ご寄付が集まりました！

地震を想定した、もしものときの訓練

新任副院長のキャラクター紹介

看護部よりお仕事紹介 part ②

看護補助者をご存知ですか？

今月のレシピ 香味野菜の冷製パスタ

登録医訪問

藤田内科消化器科医院(西区)

職場訪問 医療情報課

なでしこチアーズ

ひたむきに医療と向き合い
挑戦し続ける臨床研修医

ひたむきに医療と向き合い

挑戦し続ける臨床研修医

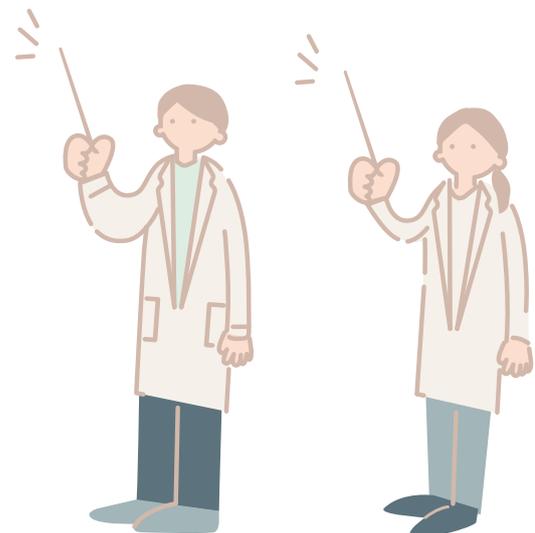


長谷川 耀

YOU Hasegawa

Profile

2019年4月 新潟大学医学部 入学
2025年3月 新潟大学医学部 卒業
2025年4月 済生会新潟病院 勤務



医師免許を取得し、

医学部を卒業したばかりの医師たちは、

臨床研修医として2年間の

初期臨床研修に臨みます。

当院では10名の臨床研修医を迎え、

新年度がスタートしました。

「人生100年時代」と呼ばれる現代、

若手医師たちはどのような意気込みを持って

日々の仕事にあたっているのか。

共に新潟大学医学部を卒業したばかりの

長谷川医師、田中医師のお二人にお話を伺いました。

医師になるまでの過程



一般的には、医学部を卒業し「学士(医学)」を取得後、医師国家試験に合格し医師免許を取得します。その後、研修病院として選んだ病院で2年間の「臨床研修」を受けます。3年目からは「専門研修」となり、各専門の領域を学びます。

高校

大学(医学部6年)

一般教養／基礎医学
臨床医学／病院実習

医師国家試験

医師

臨床研修医として

研修指定病院にて
2年間の臨床研修

〈スーパー・ローテート方式〉

2年間の臨床研修で必須科目をはじめ、選択必須科目、選択科目とさまざまな科を回り、プライマリ・ケアの基本的な診察能力を修得します。

専門研修

大学病院、総合病院
などに勤務



田中 愛子

AIKO Tanaka

Profile

2019年4月 新潟大学医学部 入学

2025年3月 新潟大学医学部 卒業

2025年4月 済生会新潟病院 勤務

それぞれの目標を胸に
医療現場で活躍

— お二人は同窓生なんですね

長谷川 同じ学年で、たまたま同じ集合住宅に住んでいたけれど、

当時は挨拶を交わす程度でした。

— 医師を目指したきっかけは？

田中 高校時代に理系科目が得意だったこと、そして、人と直接関われる仕事をしたいという気持ちがありました。医師という職業であれば、さまざまな医療従事者の方と関わりつつ、たくさんのお患者さんとのコミュニケーションも重要になる。そこに魅力を感じました。

長谷川 両親共に医者です。小さい頃からよく職場に連れて行ってもらいました。その時、患者さんや

コメディカルの方々から信頼されている両親の姿を見て、「自分もそうなりたい」と考えるようになりました。父は循環器内科、母は腎臓内科の勤務医です。

— 数ある病院の中で当院を

研修先として選んだ理由は？

長谷川 昨年の本誌で、同じく研修医として紹介された大学時代の先輩、藤井一輝先生を追いかけました(笑)。研修医として先輩の働く姿を見て、迷わず志望。研修が始まって以来、尊敬する先輩とほぼ毎日顔を合わせる機会に恵まれています。

田中 私は、医学部6年の時にこちらの呼吸器内科で実習し、初めての医療現場を体験させてもらい、ぜひ臨床研修でもお世話になりたいと思いました。

——現在はこちらの診療科で

研修されていますか？

長谷川 呼吸器内科から代謝・内分泌内科と腎臓内科に移動したところです。次は整形外科の予定です。

田中 循環器内科での研修に入っています。内科全体での研修はだいたい6週間ほど。その前は、長谷川先生と同じ、呼吸器内科で学びました。

——業務内容を教えてください

長谷川 診療科によりますが、代謝・内分泌内科では糖尿病の患者さんへの厳密な血糖管理を行っています。血糖値の推移を正確に把握し、インスリンと経口血糖降下薬を調節していくことが主な内容です。腎臓内科では、患者さんと今後の治療方針を決める重要な相談の場に、先輩医師と共に対応しています。

田中 循環器内科の疾患は幅が広

く、例えば、心筋梗塞のように今すぐに治療を必要とする疾患があれば、慢性心不全のように長く経過を見つけていく必要がある疾患を持つ患者さんの場合もあります。約6週間の研修で、救急外来に対応を求められ、そのまま力テール治療に進んだり、じっくりと薬の量を調整・検討したりと多種多様。最初に経験した呼吸器内科とは違う大変さがあります。

——志望する専門領域は？

田中 将来的に内科に進みたいと思っています。学生の頃は、社会復帰を促すための慢性期医療を専門にしたいと考えていました。循環器内科で急性期の対応を研修する中で、強い苦痛を訴える患者さんが治療の過程で、数週間後には、笑顔で退院されていく姿がとても印象的でした。慢性期は慢性期で長く患者さんと関われる魅力があります。急性期の治療もやりがいがあると知るきっかけになりました。

長谷川 どちらかという体を動かしたいので、手技のある内科医になりたいと今は考えています。消化器内科や呼吸器内科です。

専門領域を決めるための 貴重な2年間

——臨床研修にあたって

心がけていることは？

田中 臨床研修が終わると、医師はそれぞれ専門の診療科を選び、専門性を深めていくことになりませんが、実際の医療現場では、専門外の症状を持つ患者さんに対応することも少なくありません。この2年間で専門領域に縛られすぎず、幅広い診療科の知識を学び、自分のものにできるようにと思っています。

長谷川 田中先生が言うように、総合的な視野というのはこれからの医療現場ではとても大事だと思います。特に、高齢患者さんの増加により複数の疾患を抱える場合も多くなります。自分の専門診療科だけでなく、他の診療科の知見を持つて対応することが必要になります。学び続けること、そして、日頃から積極的なコミュニケーションを取ることも重視していきたいです。

——理想の医師像は？

田中 医学部5年時の臨床実習から多くの先生方と出会い、それぞれのスタイル、患者さんとの接し方、考え方が多様で驚きの連続でした。臨床研修ではどの診療科でも、しっかりと患者さんの声に耳を傾けられる医師になりたいです。いかに患者さんと信頼関係を結ぶか、どうアプローチするのかを臨床研修で身につけていければと思います。

長谷川 患者さんを治療することは「山を登ること」に例えて考えています。登山ガイドが関わるように、どこから、どう登るかを登山者本人に考えてもらい、ガイドが助けながらゴールを目指します。患者さんが登山者だとして、医師である自分はガイドの立場に徹する。ご自身の決断を尊重し、サポートしつつ頂上まで寄り添ってゴールを目指せる医師になりたいです。

(聞き手 松永春香)



切磋琢磨しながらも
この笑顔!
今年の研修医たちの
絆は強い!

Seeking the real portrait

長谷川 耀医師／田中 愛子医師 素顔拝見



同じキャンパスで学生時代を過ごし
それぞれ部長としても活躍されていたお二人。
若さあふれるプライベートについて伺いました。

Q1.ご出身&学生時代の思い出は?

千葉県幕張が出身地です。大学時代は藤井一輝先生と同じ軽音部に所属し、部長を経験しました。卒業シーズンギリギリの12月まで、毎月講義室を借りてはライブイベントを開催し、活動を続けました。担当楽器はベース、たまにギターボーカル



をやることもあります。
エルレガーデンワン
ELLEGARDEN と ONE
オク ロック
OK ROCK が好きです。

東京都豊島区の下町情緒あふれる駒込で高校まで過ごしました。転勤族だったので出生は名古屋。他の土地にも暮らしたことがあります。大学では子どもの頃からずっと続けてきたバイオリンで、オーケストラ部の部長として活動していました。



Q2.最近気になっていることは?

今話題の Nintendo
ニンテンドー
スイッチ
Switch 2! 残念ながら抽選にははずれてしまいましたが、店頭に並んだらすぐにでも手に入れたと思っています。好きなゲームは「ファンタジーライフ」。自由度が高く、自分のペースで世界を楽しめる感じが好きです。あと、DS でよく遊んでいた「たまごっちのプチプチおみせっち」も、またやってみたいです。

以前、食事だけで東京ディズニーシーのファンタジースプリングホテルを訪れ、同じパーク一体型ホテルとしてよく比較されるミラコスタよりも料理がおいしくて感動。それ以来、どうしても泊まってみたい!と思うようになりました。人気が高く何カ月も前から予約が必要ですが、なんと少しでも行きたいですね。



Q3.いつかチャレンジしたいことは?

生豆から焙煎し、自分で挽いて丁寧にコーヒーを淹れたいです。もともと興味があったのですが、本誌2023年1月号でも紹介された呼吸器内科の市川先生のコーヒー愛、その啓蒙!からの絶大なる影響です。



動物が大好きで(動物園に行くのも好きです)、でもペットを飼ったことがないので、いつかペットを飼いたいなと思っています。写真はオーストラリア旅行で、コアラを抱っこさせてもらった時のもの。必死にしがみついてくれてかわいかったです。

パスタは食塩量が多く、高血圧などの減塩が必要な疾患では食べられないと思う方も多いのではないのでしょうか。でもそんなことはありません。今回は香味野菜をたっぷり使って、減塩でもおいしい、夏にぴったりの冷製パスタをご紹介します。

栄養科監修/久保田 愛(管理栄養士)・内藤 翔(調理師)

高血圧の方の減塩に

香味野菜の冷製パスタ



材料〈2人分〉

- カペリーニ(細めのパスタ)..... 2束(80g×2)
- しらす..... 20g
- オリーブオイル..... 大さじ1
- みょうが..... 2個
- 青しそ..... 4枚
- おくら..... 4本
- かいわれ大根..... 1/4パック
- ミニトマト..... 6個
- ★ 塩..... 小さじ1/2
- レモン汁..... 大さじ2
- 黒こしょう..... 少々
- おろしにんにく... 1/2かけ分

ポイント

- 香味野菜やにんにくの香りで、薄味でも物足りなさを感じません。
- 野菜に含まれるカリウムは、ナトリウム(塩分)を体外へ排出してくれる働きがあります。
- しらすのうま味も減塩に役立ちますが、食塩も多く入っているので、使いすぎには注意が必要です。

● 1食分の栄養価

エネルギー	401kcal
たんぱく質	13.0g
脂質	9.8g
炭水化物	62.0g
食塩	1.6g

クックパッドに公開しているレシピを台所でどうぞ



作り方

- ① パスタは袋の表示時間通りに茹でた後、氷水でしめる。よく水を切ったあと、オリーブオイルを絡めておく
- ② みょうがと青しそは千切りに、おくら茹でて小口切りに
- ③ しらすと②を混ぜ、合わせておいた★を加える
- ④ パスタに③を絡める
- ⑤ 皿に④を盛り付け、1.5cm幅に切っておいたかいわれ大根と、4等分にしたミニトマトをのせて出来上がり♪



お礼の言葉

スタッフの方々の細かな親切に感動です。入院中は、患者である私たちに対する声かけ・会話がとても心に染みました。掃除されている方々の患者に対する接し方も、日頃感じることができなかった一言がとても身に染み、反省させられました。



月1回、親の付添いで通院しています。毎回昼食ではカフェを利用しているのですが、美味しいのと店員の方々が優しく対応してくださるので、とても満足しています。お年寄りにも丁寧に話したり、会計でまごついてもゆっくり待ってくださったり、ありがたいです。今後も利用したいと思っています。



「会計時にもらう用紙にバーコードを印字し、それで会計が済むようにしてほしい」と投書したところ、後日、導入を検討中であること、そして2024年4月には導入予定であることを丁寧なお手紙で知らせていただきました。そのご対応に感動いたしました。そして現在、予定通りシステムが変更され、診察券を再び出すことなく、すべての会計処理が完了するようになっており、小さな声にも耳を傾け、善処していただいたことに心より感謝申し上げます。



Information

入院・外来患者さんへの「患者満足度調査」実施のお知らせ

当院では、より良い病院づくりのために患者満足度調査を右記の日程で実施を予定しております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
(サービス向上委員会)

● 調査実施日と対象の方

外来

8月25日(月)～29日(金)の期間に
外来受診される患者さん

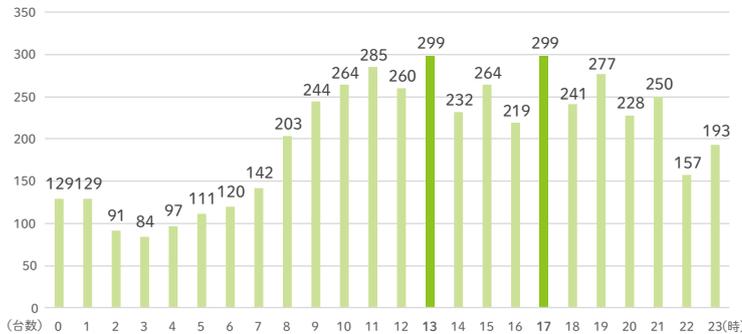
入院

8月1日(金)～31(日)の期間中に
退院される患者さん



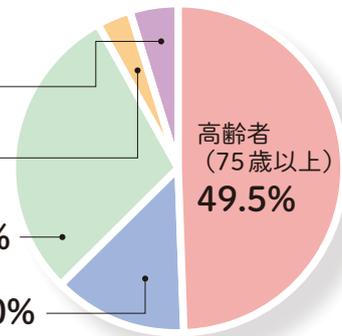
最新・救急車受入れ状況

〈数字で見る2024年度の救急搬送〉



〈救急搬送者の年齢別構成〉

- 新生児・乳幼児(7歳未満) 4.7%
- 少年(7歳以上18歳未満) 3.2%
- 成人(18歳以上65歳未満) 29.5%
- 高齢者(65歳以上75歳未満) 13.0%



昨年度、当院が受け入れた救急車は4,818台でした。救急車を受け入れた時間帯では左図のように13時台と17時台が最も多くなっており、日中の受け入れが多くなっています。一方、0時から7時台にかけてもコンスタントに100台前後の救急搬送があり、深夜から朝方にかけての救急対応も重要であることが分かります。

救急搬送された患者さんの年齢構成では、救急搬送者の62.5%が65歳以上の高齢者となっており、そのうち75歳以上が49.5%も占めています。5年前の2019年度では58.6%が高齢者、75歳以上が42.8%でしたので、救急搬送された患者さんの高齢化が進んでいます。

これからも救急拠点病院として、24時間365日の救急受け入れ体制を維持し、新潟市の救急医療を支えてまいります。

老朽化が進む救急車の更新を目指して

3,000万円以上のご寄付が集まりました!

走行距離が26万キロを超えた病院救急車の更新を目指して4月21日から7月18日まで挑戦してきた当院のクラウドファンディングは、7月18日現在で539人の皆さまから、31,101,287円(速報値)のご寄付をいただいています(寄付額が確定しましたら、本誌次号でお知らせします)。これまでご支援をいただきましたすべての皆さまに、謹んで御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

寄付金につきましては、新しい病院救急車および搭載する医療機器類の調達(見積額約3,000万円)に充てさせていただきます。

● 本件に関するお問い合わせ先

済生会新潟病院(経営企画室) 五十嵐・古川
 電話番号:025-233-6161(代表) Eメール : crowdfunding@ngt.saiseikai.or.jp

Cheers! 6月号のクラウドファンディングの記事に誤りがありました。読者の皆さまならびに関係各位に、ご迷惑をお掛けしましたことお詫び申し上げます。訂正いたします。

声援コメント①:誤)医機従事者 正)医療従事者/声援コメント②:誤)地域医癖 正)地域医療

なお、調達時期(納車)は来年の6月頃を予定しており、納車しましたら皆さまにご披露させていただきます。

当院はこの救急車をDMAT(災害時緊急派遣医療チーム)活動のほか、救急車をより多く受け入れることを目的とした病床確保のための、他院への患者搬送用として使用していきます。

引き続き、当院の取り組みにご理解とご協力をお願いいたします。



Report

地震を想定した、もしものときの訓練



6月2日に新潟佐渡沖で発生した地震を想定して、初動対応の災害訓練を実施し、各部署から総勢100名以上の職員が参加しました。

地震発生を知らせる訓練用の院内放送から訓練がスタートし、各部署が院内放送と災害対策マニ

アルをもとに行動するのと並行して、災害対策本部を立ち上げました。

本部設置後は段階に応じて、本部が被害状況を情報収集しながら、病院がどのような対応をしていくかの方向性を決定していきました。

平時からできる準備をしておくことが大切となることや、地震発生時にまずは何をすればいいのかを理解しておくことの重要性を、再認識できた訓練となりました。もしものときに災害拠点病院として対応できるよう、これからも平時からの準備を進めていきます。

(防災・災害対応委員会 風間 伸介)

Information

新しい仲間が加わりました

新任副院長のキャラクター紹介



Drさいせい

当院では、患者さんや地域の皆さんから、当院に親しみを持ってもらえるよう、経営管理層をモチーフにしたキャラクターを広報活動に活用しています。この4月に副院長2名が新たに就任しましたので、新キャラクターを作成しました。「とびちゃん」と「じゅんちゃん」です。院長をモチーフにした「てらすくん」たちと共に、院内外の広報活動に登場します。今後の活躍に注目していただけましたら嬉しいです。(総務課 吉川 未織)



てらすくん

まさきくん

しおちゃん

しいちゃん

たけくん



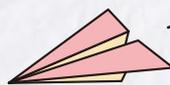
とびちゃん



じゅんちゃん

夏季 | 休診日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
8/10 休診日	11 山の日	12 休診日	13	14	15	16 休診日



高校を卒業してからというものの、運動不足を実感しつつも、ランニングや自宅トレーニングは三日坊主で毎回続かず。そこで運動のきっかけ作りとして、幼少期から高校卒業まで習っていた「空手」を再開しようと思いいちました。

昨年から、月に数回ではありますが練習時間を設け、大会出場を目標に、まずは1年間継続できています。体力の衰えを自覚しつつも、無意識に現役時代と同じ感覚で動きたくなってしまいました。結果身体を痛めて、後悔するばかりです。先日7年ぶりの公式戦にも挑戦でき、来年に向けての意欲に繋がりました。

20年程前に共に空手を始めた母も、今も練習を続けています。一緒に練習することもあり、お互いがモチベーションになっています。親子揃って「生涯スポーツ」として、空手を楽しく継続していきたいです。



臨床工学室 臨床工学技士
浅井輝璃さん



次号は

臨床工学室 臨床工学技士
小泉敦也さんに

バトンタッチ

今年度から一緒に働いていますが、経験年数は大先輩。笑顔と気さくな性格が素敵で、仕事もプライベートも明るく相談に乗ってくれる優しいお兄さんです。これからもたくさん頼らせてください!

看護部よりお仕事紹介 part ②

看護補助者をご存知ですか?

前号に引き続き、看護補助者さんについてのご紹介です。看護補助者さんから患者さんとのあたたかいエピソードを伺いました。

看護補助者の仕事が初めてで、不安だった入職時、患者さんから「大丈夫、すぐ覚えるよ」と励ましの声をかけられ不安が和らいだ事がありました。数ヶ月後には「慣れた?」と言葉をかけていただき、安心した事を覚えています。

さらに退院した患者さんに偶然、外来でお会いした時には、患者さんの方から声をかけていただく事がありました。元気な患者さんの姿を見ることが出来た事と自分を覚えてくれていた事にうれしくなりました。入院時は動けなかった患者さんが治療を開始し、歩いて退院していく経過を見ており、退院後に元気な姿で会える事は喜ばしいです。



元気に退院できる患者さんが全てではありませんが、体を拭いた後に「さっぱりした」「また〇〇さんお願い」と、普段辛い表情の患者さんの笑顔を見た時には嬉しく思います。

患者さんの療養生活を支える事は看護チームの一員としてやりがいを感じます。

看護補助者さんと患者さんの微笑ましい様子を垣間見る事ができます。患者さんとの関わりで看護補助者さんも癒やされ、嬉しさをもらい、毎日元気に働いています。皆さんも一緒に働いてみませんか。

(B5病棟副看護師長 山口美樹)



藤田内科消化器科医院の副院長の小川和也です。当院は、私の義理の父である院長の藤田一隆先生が30年以上前に開院された西区善久にある医院です。医師2人体制でスタッフも増えて手狭になったため、数年前に医院を同敷地に新築しました。

当院はその名の通り「内科・消化器内科」の診療は勿論ですが、私の専門の一つである「形成外科」の診療も行っていることが特徴です。

形成外科は、お子さんも含め頭から足まで全身を対象として、体表に表れた様々な異常を正常化する診療科です。全身のケガ(手や足の筋や腱、顔の骨も対象)、ヤケド、皮膚・皮下のできもの、皮膚トラブル、手や足の変形、眼瞼下垂、さかさまつげ、ウオノメ、巻き爪・陥入爪、多汗症、ワキガ、キズ痕の治療などの他、自由診療としてシミ取りや脱毛、ふたえまぶた、顔の皮膚のたるみなどの美容処置・手術なども行っています。

Medical Partners

医療連携の頼れるパートナー

登録医訪問

藤田内科

消化器科医院

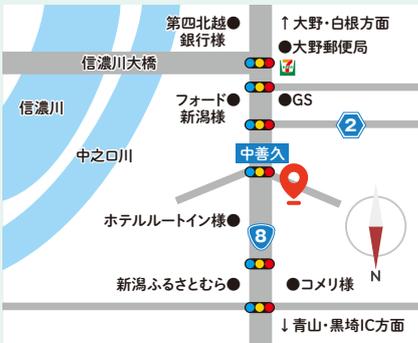
消化器内科・内科・形成外科

西区



また、私は消化器領域では大腸癌や炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病)などの診療にも力を入れており、大腸内視鏡検査を精力的に実施しています。

内科消化器科と形成外科を合わせた広い視点を活用しながらこれからも新潟の医療を支えて行く所存です。よろしくお願いたします。



医師名 おがわ かずや
小川 和也 先生

住所 〒950-1102 新潟市西区善久108-2

電話 025-379-1288

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	●	●	●	—	●	※	—
15:00~18:00	●	●	●	—	●	—	—

受付/午前 8:30 ~ 午後 14:30 ~ ※土曜日 9:00 ~ 13:00

連携医療機関(登録医・病院)からのご紹介・ご予約について

当院の地域医療連携室までご連絡ください。

TEL.025-233-6182(直通) FAX.025-231-5763

※平日8:30~17:00(土・日・祝日を除きます)

※患者さんからの予約はお取りしておりませんのでご了承ください。

※登録医訪問に掲載ご希望がございましたら、地域医療連携室までご連絡ください。

Workplace visit

院内で頑張るスタッフがざらり

職場訪問

医療情報課

病院では医療情報システムと呼ばれる、電子カルテや検査、処方などを行うための多岐にわたるシステムを用いて日々の診療にあたっています。

医療情報課の主な業務は医療情報システムの保守・運用・導入です。

保守業務については、日々の点検や機器の修理対応、トラブルシューティングといった業務を行っています。医療情報システムにトラブルが発生してしまうと病院運営に大きく影響が出てしまうため、日々の予防や早急な対応が重要となります。

運用業務では、院内ネットワークの管理、職員のアカウント設定、業

務や学会発表で使用するデータ抽出といった業務支援を行っています。また、システムの操作方法や運用に関する問い合わせに対応するヘルプデスクの役割も担っています。

近年、医療DXといわれるデジタル技術を活用した、医療業務の効率化が求められています。患者さんのためになる医療サービス向上と病院職員の業務負担軽減に貢献していきたいと考えております。

(医療情報課 田尻正之)





こころ 躍る 毎日を。



どなたさまでも!!

やっぱり火曜は
アピタがオトク!

火曜特売

朝から晩まで1日オトク!

毎週火曜日は生鮮食品を中心に、
お買い得商品盛りだくさん!
どうぞご家族お揃いの上、ご来店くださいませ

majicaアプリ・UCSカードmajica・
majica donpen card会員さま限定企画

圧倒的な破格プライス

マジ価格

majicaアプリ会員証、UCSカードmajica、
majica donpen cardのご提示でおトクにお買い物!
※majicaカード会員さまも対象になります。

アピタ新潟西店 新潟市西区小新5丁目7番21号 **お客様専用ナビダイヤル** ☎0570-009608

予防医療センターのご案内

「治療」から「予防」へ 予防医療の実現を目指します

健診内容

- 人間ドック
- 脳ドック
- 肺ドック
- 生活習慣病予防健診
- 特定健康診査
- 新潟市がん検診
- 個人健診
- 各種単独検査 等



B棟2階 予防医療センター

詳しい内容についてはこちらの
QRコードからホームページでご確認ください



☎ **025-233-6669** (直通)
予防医療センター受付時間 平日9:30 ~ 11:00
お電話でのお問い合わせ時間 平日9:00 ~ 16:30

地域医療支援病院 臨床研修病院 災害拠点病院 赤ちゃんにやさしい病院

社会福祉法人 恩賜財団 済生会 済生会新潟病院

〒950-1104 新潟県新潟市西区寺地 280-7
TEL.025-233-6161(代) FAX.025-233-8880



当院 HP よりバックナンバーもご覧いただけます。

こちらも
注目



済生会新潟病院の
エックス
ツイッター
X(旧Twitter)好評稼働中!

当院キャラクター
じゅんちゃん



医療連携機関マップ
<http://saiseikaidaini-renkei.jp>



病院ホームページ
<http://www.ngt.saiseikai.or.jp>

